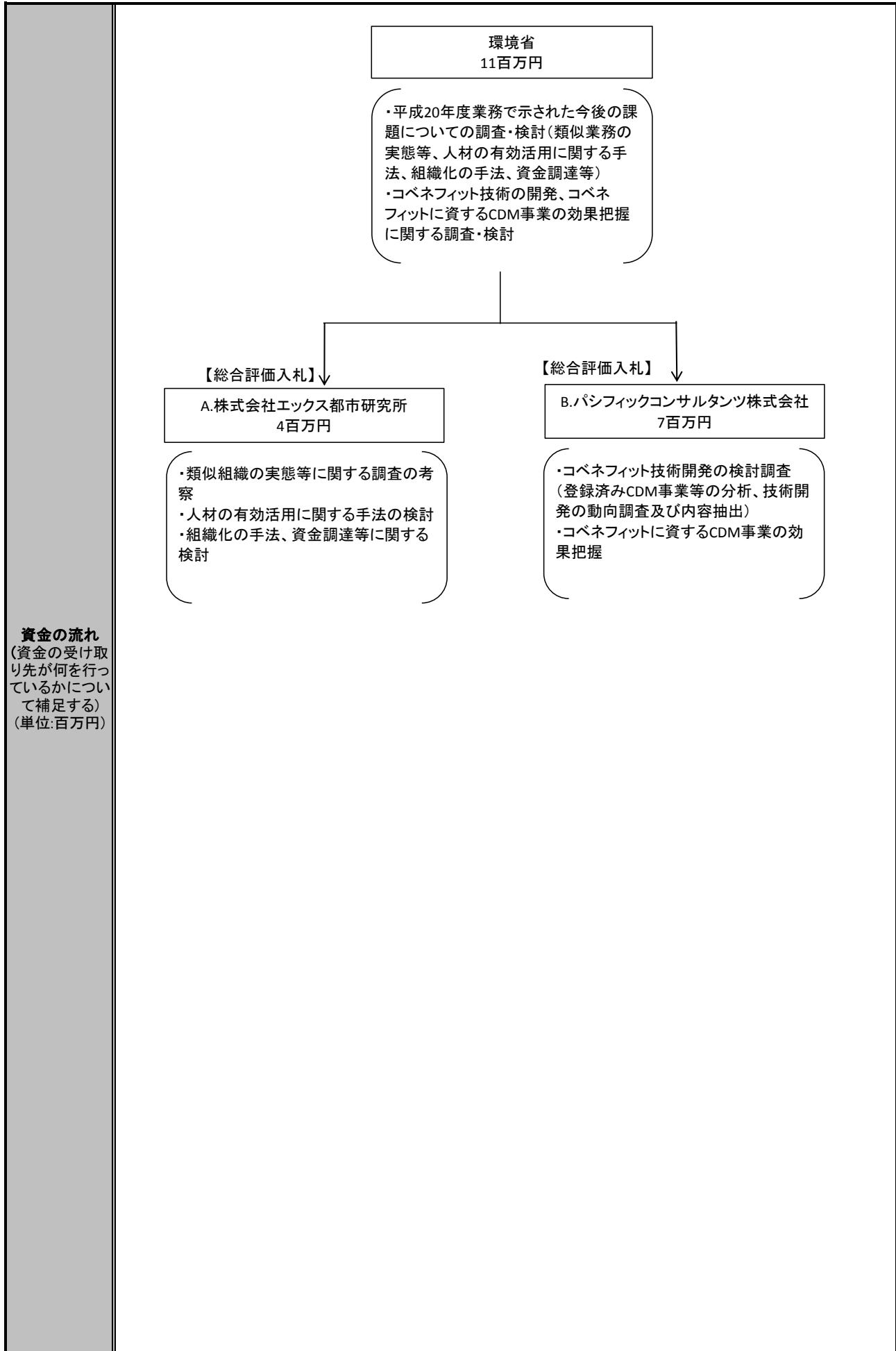


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	日本の人的資源を活用した目に見える国際環境協力の検討	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局	水・大気環境局	担当課室	水・大気環境国際協力推進室	水・大気環境国際協力推進室長 竹本 明生		
会計区分	一般会計	上位政策	大気・水・土壤環境等の保全			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	第3回東アジア首脳会議(EAS)における日本の環境協力イニシアティブ(2007年11月) クリーンアジア・イニシアティブ(2008年6月)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジアにおいて、大気や水の汚染に対するモニタリング実施体制や技術が不十分で、正確な環境状況の把握が出来ていない状況にあるため、公害克服を経験した日本の団塊世代などでモニタリング等についての経験や技術が豊富な人材を現地に派遣し、アジア各国のモニタリング能力や対策能力の向上等を図ることにより未然防止を含む環境の改善・保全に資することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	モニタリング等についての経験・技術が豊富な団塊の世代の自治体職員などを「国境なき環境調査・協力団(仮称)」として組織し途上国等に派遣し、外務省やJICAとも十分連携しつつ、アジア各国のモニタリング能力や対策能力の向上等に貢献するため、国内外の事例調査や類似団体との関係検討を踏まえ、アジア地域における環境状況及びニーズの把握による協力方針の検討や、継続的な資金調達や派遣システム等の調査団のあり方について検討する。					
実施状況	平成20年度においては、人材派遣により国際協力を実施している類似の組織における実態等の調査、「国境なき環境調査・協力団」の組織化手法の検討、途上国の環境問題等の状況に関する文献調査を実施したほか、インドネシアの自治体、学識経験者及び住民を対象としたワークショップをインドネシア(ジャカルタ)にて開催し、日本が有する人材と技術を活かした国際協力に関する推進・普及活動を実施した。 平成21年度においては、平成20年度に今後の検討課題として残された、類似組織の実態等に関する調査の考察、人材の有効活用方策に関する手法の検討、「国境なき環境調査・協力団」の組織化の手法・資金調達に関する調査・検討を実施した。また、日本が有する技術を活用して途上国の環境改善に資するため、今後開発が必要なコベネフィット技術やコベネフィットに資するCDM事業実施による効果評価についても調査を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算額(補正後)	-	11	22	0	0	
執行額	-	10	11			
執行率	-	90.9%	50.0%			
総事業費(執行ベース)	-	10	11			
自己点検 支出先・使途の把握水準・状況	定期的に環境省担当官と請負業者の間で打ち合わせを実施し、業務仕様書に基づき適切に業務が履行されていることを確認している。また、検討会、現地調査及びセミナーの開催に際しては、事前に環境省担当官と請負業者間でその規模や内容について十分協議を行った上で実施している。					
見直しの余地	平成21年度に事業を廃止。					
予算監視・所効見率化	その他 (見直しの余地欄に記載の通り、当該事業については平成21年度限りで廃止)					
補記						



費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。 使途と費目の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.株式会社エックス都市研究所			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	国境なき環境調査・協力団事業検討調査費	4			
	計		4	計		0
	B.パシフィックコンサルタンツ株式会社			F.		
費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。 使途と費目の双方で実情が分かるように記載)</small>	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	コベネフィットCDM事業の効果分析及び技術開発に関する調査費	7			
	計		7	計		0
	C.			G.		
費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。 使途と費目の双方で実情が分かるように記載)</small>	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。 使途と費目の双方で実情が分かるように記載)</small>	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0